

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	社会福祉法人パートナー ハートの家 1	評価実施年月日	平成20年11月5日
評価実施構成員氏名	鈴木、加藤、桜井、押切、佐藤、森、山岸、菊池		
記録者氏名	山口 武	記録年月日	平成20年11月11日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域密着型サービスとしての新たな基本理念・運営方針を盛り込み、夏祭りや消防訓練等に地域住民の方々が参加されている。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念に基づく生活を考えるために各階の見やすい場所に掲示しております。月に一度のミーティング時に話し合いの場を設け理解を深めています。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、町内会長や近隣住民等に声を掛け理解を深めていただいています。また、毎月ハートの家便りを発行しご家族様に郵送しています。地域の回覧板に火災訓練の様子を載せていただきました。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>近隣に声を掛け、夏祭りや消防訓練に来ていただいております。近所の花壇への水やりを行っております。また、ホーム不在時の見回りや、近所へのお食事のおすそ分けを行っております。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>街路樹の花植えや水やり、町内での消防訓練に参加しています。</p>	○	<p>色々な町内会での行事に参加できるよう推進会議等で話し合っ行ってきたいです。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ご近所にお住まいの高齢者ご夫婦との付き合いの中で、雪かき等を行っております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全体で定期的に取り組み、ミーティングにて業務に落とし込むよう検討している。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>ケアの方法や、通院の効率化、レクリエーションの展開についてご家族様や町内会の意見を聞き、内容をミーティングにて検討しております。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>成年後見制度など、今後ホームにとって必要となってくるであろう制度についてはその都度、助言等を頂いています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>実際に地域権利擁護事業を活用させていただいています。</p>	○	職員やご家族様が目にしやすい場所に内容を添付しております。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>高齢者虐待防止の研修にも参加している。ホーム内でも虐待に対する定期的な勉強会を開催している。</p>	○	資料を配置し、職員全てが内容を理解し、防止に努めている。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>入居者様のご家族と面談を行う時間を設け常に説明、話し合いをし、理解を得ている。入居時には契約書の読みあわせを行い不明な事項に関しては説明をさせていただいております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	国保連のポスター、苦情担当者の名前を掲示しています。又、玄関横に意見箱を設置しています。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	定期的な医師の受診及び変化時にはその都度報告をし、来訪時にも日常生活の報告をしている。金銭管理に関しては領収書等を添付した請求書と合わせて毎月説明させて頂いております。職員の異動に関しては手紙にてお知らせしております。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	見やすい場所に国保連などのポスターを貼り、契約時にも説明をしています。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に職員からの意見や提案を聞く機会を設けている。(ミーティングや個別面談)それを管理者会議を通し運営に反映させています。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	受診やレクに沿った職員の調整や入居者様の状況に応じた対応をしています。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動や退職した場合は入居者様の心の負担が最小になるよう理解できる入居者様に対してはお話をしっかり行いました。その後混乱が無い様に状態把握や情報の共有に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		<p>研修会への参加を積極的に取り入れ、スキルアップを図っています。ホーム内での勉強会、法人全体での研修も年に4回程行っております。また、外部への研修も行っております。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		<p>他グループホームへの見学会を行いました。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		<p>スタッフルームの確保、他職員との交流の場の確保、希望者の運動(フットサル)を行っています。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		<p>研修への参加、資格取得などのための支援を積極的に行っています。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		<p>日ごろから入居者様が困ったり不安に思っている事が無いか会話などの中から感じ取り、なるべく早く対応出来るように心掛けています。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	○	<p>ご家族様の話しを聞き、出来る限り不安を取り除き、安心した気持ちで帰られる事が出来る事が出来るよう努力する。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談内容により、より必要としている支援や提案を考慮し、多くの選択肢を持つ事を心掛けています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人の納得とご家族様からの情報を得て安心できる環境作りを支援、出来るだけ短期でサービス計画を変更しながら支えていくよう心掛けています。(アルバムや馴染みのタンスなどを持ち込んでいただいております)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	本人が出来る事(編み物、畑仕事、草花の栽培等)は入居者様に指導して頂くなどの場を設けて支えあう関係作りを築いています。		畑の収穫、花の植えかえ、散歩時や買い物等、スタッフと楽しんでいきます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ホームの行事に出来るだけ参加していただき、一緒に楽しんで頂けるようにしています。		ホームの行事(夏祭り、温泉一泊旅行、お花見、クリスマス会等)ご家族が気楽に参加し易いように曜日などを考慮し、スタッフとの交流の場にもなっております。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるよう支援している。	今までの生活を把握し、よりよい関係の継続や向上を支援していけるよう努めています。	○	ご家族様がいつでも来訪しやすい雰囲気を作りそれまでの良い関係を保ち、より良い関係を築く事が出来るよう支援していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族・友人などの来訪や手紙、電話連絡などを取り入れています。馴染みのお店、場所など、ご家族様と協力しながら行っています。		ご家族様以外の馴染みの人々が来訪時に「また来るね」と言って貰え、ご本人との関係が途切れてしまわないよう支援していきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様同士の助け合いや支え合いが出来るよう、また孤立する事無く生活が送れるように日常的に支援しております。		洗濯、掃除、買い物、炊事等、お互いが声を掛け合ったりしております。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	亡くなった方のご家族様が退所後もホームを気にかけてお電話を頂いております。		亡くなられた入居者様が楽しまれた行事への参加をご家族様に連絡させていただいております。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いや希望を聞き、その都度対処させて頂いております。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居者様の生活歴や背景、大切な経験や大事な物をご本人やご家族様から情報を得て、ケアサービス計画に生かしている。		センター方式の活用
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	入居者様個々のペースに合わせた過ごし方の中で、心身の状態を見極め変化などを見逃さない様、日誌の記載、介護計画の見直しを行いスタッフ全員が周知するよう申し送りノートも活用しております。		定期的なミーティングやカンファレンスで協議しております。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	月に1回以上の検討会議、モニタリングを行いケア計画を作成。ご家族様から希望の確認も行っております。		介護計画をよりよくするため、本人、ご家族様、との話し合いを大事にチームで取り組んでおります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	1ヶ月・3ヵ月・6ヵ月、その都度(入院・怪我)に見直しを行っております。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録を日誌に記載、申し送りノートも活用しております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	法人内の有料老人ホームやデイサービスなどと連携をとっております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ボランティア(月に4回のダンス)を取り入れております。その他敬老の日、クリスマスなどにもボランティアを取り入れております。また、地域で開催されている避難訓練や花壇作りなどに参加させていただいております。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	居宅療養管理指導として往診の歯科から口腔ケアの定期的な指導をしていただいております。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議を通じて包括支援センターの方々にも参加して頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	往診を取り入れる事により入居者様の普段の様子や生活から日々の体調管理をして頂いており、体調変化時には適切な指示を24時間頂いています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	主治医からの紹介や連携のなかで専門医の紹介を受けています。専門医にホームでの生活を職員が報告したり相談させて頂くことで適切な処置と関係を築いております。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	往診時の看護師がホームとのパイプ役となり相談や日常の健康管理にも協力的です。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院の場合、ご家族様と常に連携をとりながら一日も早い退院に向け取り組んでいます。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化した場合や終末期のあり方について法人全体のマニュアルの作成がなされ、本人やご家族様、病院との連携がスムーズにとれるような体制を整えています。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化した場合や終末期のあり方について法人全体のマニュアルの作成がなされ、本人やご家族様、病院との連携がスムーズにとれるような体制を整えています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	十分な情報収集を行い、ご家族様の協力も得ながら極力不安の無い様ダメージを防ぐ事に努めております。		それまでの生活が住み替えにより極端に変わる事無く関係者間で十分な話し合いをこれからももってしていきたいです。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	本人のプライドやプライバシーを傷つけないような言葉掛けや対応に配慮しております。		スタッフ一人一人が個人情報保護法に基づき外部に情報が漏れないよう行っています。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	個々にあわせた声掛け、意思表示の困難な方は表情を読み取るなど、出来るだけ本人の医師を大事にし、買い物や金銭の支払いなどの支援をしています。	○	何事も常に自分で決めていただけるよう配慮し支援していきたいです。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	ご本人のリズムや生活の流れ、得意不得意を理解し支援しています。	○	一人一人が本当の希望を言え表す事ができそれを感じてケアできるように支援したい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	基本的に自分の気に入った洋服を着て頂く様にしています。美容室などはそれぞれ近所や訪問で好みに応じカットやパーマをおこなっております。		ダンスの時間や外出時など、お化粧をしたり、よそ行きの服を着たりして楽しんでおります。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	調理・後片付けなどを入居者様と一緒に、楽しく食事が出来るようにしています。また、再演で収穫した野菜などを材料に使い楽しいと実感していただいております。		自分達で育てた野菜など、沢山食べてくれています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	希望により、献立の中に取り入れております。また、好きな飲み物など自分で買いに行っております。		食事の制限が必要な方もいらっしゃいますので医師の指示に従いながら好きな物、居室で食べるもの等を購入しております。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターンに合わせて誘導・声掛けを必要に応じて行い、日中は出来るだけパットなどの使用も少なくしております。		今後もパットやナプキンは外出時など必要に応じて使用し、極力使用しないよう努力していきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調を考慮し、入居者様の希望にあわせ柔軟に対応させていただいております。		現在夜間の入浴を希望されている入居者様はいらっしゃらないので夜間浴は実施しておりません。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日常的に決まったスケジュールは無く、それぞれが体調に合わせた休息をしております。また、日中の活動、足浴により夜間不眠もありません。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の力を生かせるよう得意な物等をより生かせるよう役割を持っていただいております。(食事作り、後片付け、草花の水遣り、新聞とり、小動物の世話など)		車椅子の方も積極的に買い物等に出かけております
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が出来る方には個人で使用していただいております。またホームにて金銭管理をされている方に対してはご家族様と事前に相談し気軽に使用できるよう支援をしております。計算が出来ない方であっても職員が介助しながらレジでお金を払っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	その日の体調や天候により、散歩や買い物等希望に応じた支援をしております。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	地域のイベントや行事、年1回の温泉一泊旅行・お花見等、ご家族様の参加も年々増えてきております。		必ずスタッフ一同で反省会を行い問題点の改善に努めています。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自由に電話・手紙を出しております。手紙などの代筆支援を行いながら遠いお孫さん達ともかかわりを持っていただいております。		入居者様が自由に電話や手紙などが出来るよう引き続き支援していきたいです。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	居室でご家族様や友人と気兼ねなく過ごせるよう心掛けております。また、食事、おやつ時には一緒に頂いてもらえるよう支援しております。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員に研修会に出席したスタッフが勉強会などで伝えていくようにしております。身体拘束についての資料を各フロアに設置し、常に理解に取り組んでおります。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は常に開放しており、防犯上夜間のみ21時～翌朝6時まで施錠しております。但し、ご家族様の事情などある場合は施錠時間を変更して対応しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	入居者様の居場所や状態の確認がさり気無く出来るようにスタッフ全員が常に意識の中に置くようにして行動しています。夜間も見回り等を徹底しております。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	個々の能力にあわせ保管・管理する物を分けております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	緊急対応マニュアル、ヒヤリハットの検討を定期的におこなっております。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	外部研修や普通救命講習等に参加し、勉強会等で職員全員に伝えております。また緊急時のマニュアルがあり、職員は熟知するよう心掛けております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署の協力を受け、避難訓練を行っています。入居者様も一緒に火事の怖さなどのビデオを鑑賞されています。火災報知器、災害ホットラインをせっちしております。		避難訓練の際は町内会の皆様による避難誘導等の協力を頂き、今後も継続していきます。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	入居者様個々のリスクマネジメントを作成、ご家族様と話し合っております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	スタッフ間の連携を密にし、通常の様子に少しでも変化が見られた場合は早急に管理者を通し医療機関に連絡、指示を仰ぐ。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋のコピーを個人ファイルにとじ、スタッフが内容をすぐに把握できるようにしている。毎食後の薬の用意、服薬の際の確認等をチェック表にて確認できるようにしております。		服薬版の作成
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	食材の工夫、十分な水分摂取、適度な運動などで自然な排便が出来るよう取り組んでいます。また、個々の排泄表を使用し、排便の確認を行っています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、個々の能力に応じた口腔ケアを行っております。また、歯科医師、衛生士からの口腔ケアの勉強会も行っております。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事摂取量、水分量などのチェックと記録を行い、個々の味、好き嫌いを把握調理方法などを常に考慮しています。		医師からの指示を受け、症状に応じた摂取量・塩分糖分、献立の対応をしております。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症についてのマニュアルを作成し、予防につとめています。感染症予防のため、消毒やうがい、手洗いを義務付けています。ホーム全員が予防接種をおこなっております。法人主催の研修会に参加しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	手洗いうがい、消毒等衛生管理マニュアルを用いて食中毒予防に努めています。		食材に関しては新鮮な物を毎日仕入れ管理しております。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	明るい雰囲気作りを心掛けております。玄関やフロアに花を活け、季節を感じられるようにしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節・行事などの写真をフロアに飾っております。テーブルには季節の花や置物などを飾り四季を感じられる様に努めております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間に椅子とテーブルを置き、一人で過ごしたり仲の良い入居者様同士で音楽を聴いたり、時には別のフロアへ遊びに行ったり出来る様にしております。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室は使い慣れた家具やお気に入りの物を持ち込み、快適に過ごせるように工夫しています。		定期的に自室
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	共有スペースは温度計、湿度計を設置しております。各居室には温度計を設置し、居室と居間の温度差に気を配り、適切な温度、湿度を保つようにしております。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	歩行時障害になるようなものは最小限度とし手摺りも設置しております。入居者様の身体状況に合わせた椅子を用意したりと個々に応じて自立した生活を送れるようにしております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	トイレ等の表示、ドアの表札でわかりやすく混乱が生じないよう工夫しております。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	花壇の前のスペースを利用して椅子を置き、季節ごとの花々や、自分達で育てた野菜を眺めながらお茶を飲んだりしております。		

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>① <u>ほぼ全ての利用者</u></p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんど掴んでいない</p>	職員は日々のコミュニケーションやアセスメントの中から入居者の思いや願い、意向を見つけ出しサービスに結び付けています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>① <u>毎日ある</u></p> <p>② 数日に1回程度ある</p> <p>③ たまにある</p> <p>④ ほとんどない</p>	その日の予定(通院・入浴)によって時間帯は様々であるが、理念に基づいてゆったりと過ごす時間、場面においては常に意識しており、コーヒーを飲みながら一緒にゆったりと過ごす場面を作っております。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>① <u>ほぼ全ての利用者</u></p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	職員は入居者一人一人の生活ペースを把握しており、それを保てるよう見守りを支援しております。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>① <u>ほぼ全ての利用者</u></p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	入居者様一人一人のADLやライフヒストリーを下にその人らしく生きる姿を発揮できるよう支援することにより、生き生きとした表情や姿が見られます。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>① ほぼ全ての利用者</p> <p>② <u>利用者の2/3くらい</u></p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	買い物やご家族様との外出(外泊)等、その都度希望にあわせております。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>① <u>ほぼ全ての利用者</u></p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	入居者様一人一人の担当医(病院)との連携やその指示のもと、健康管理や安全な生活を維持しています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>① <u>ほぼ全ての利用者</u></p> <p>② 利用者の2/3くらい</p> <p>③ 利用者の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどいない</p>	入居者様の体調に合わせ、買い物や外出などに対しその都度可能な支援や対応を実施、安全な暮らしへと結び付けております。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>① ほぼ全ての家族</p> <p>② <u>家族の2/3くらい</u></p> <p>③ 家族の1/3くらい</p> <p>④ ほとんどできていない</p>	訪問時には要望や意見等に耳を傾けるようにしており、ご家族様の心配や不安の解消などの支援も視野に入れ信頼関係作りにも努めております。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>① ほぼ毎日のように</p> <p>② <u>数日に1回程度</u></p> <p>③ たまに</p> <p>④ ほとんどない</p>	ご家族様や友人、近隣の知人が定期的に訪ねてきます。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている</p> <p>②少しずつ増えている</p> <p>③あまり増えていない</p> <p>④全くいない</p>	運営推進会議を通じ地域近隣の方々や民生委員の方々にホームの理解や協力体制が出来ています。
98	職員は、生き生きと働いている	<p>①ほぼ全ての職員が</p> <p>②職員の2/3くらいが</p> <p>③職員の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	一人一人が身に付けたスキルや能力、個性などを発揮しながらやりがいを持って働いております。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての利用者が</p> <p>②利用者の2/3くらいが</p> <p>③利用者の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	食事入浴などの日常生活から個別ケア、行事の催しなどにおける楽しみ、また介護計画における子別なケアサービスに対しても入居者様のニーズを掴み対応しており、概ね満足されております。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての家族等が</p> <p>②家族等の2/3くらいが</p> <p>③家族等の1/3くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>	夏祭り、温泉旅行、クリスマス会といった催しに参加して頂いたときのご家族様の表情や、家族様との会話時には感謝の言葉を頂いております。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

入居者様の意思を大切に生きる意欲を持って生活出来るよう最後まで自分の足で歩き、自分の口から食事を摂取でき、綺麗・おいしい・楽しいなどの感情を大切にしていこう頑張っております。それぞれが好きなように自己主張が出来るホームでありたいと思っております。